

第2期

小郡市スポーツ推進基本計画

本市では、暮らしの中にスポーツが位置づけられ、心と身体の健康を保持・増進し、スポーツを「する」・「みる」・「ささえる」ことをとおして多様な交流の場を創出し、市民がつながり支え合う笑顔あふれる地域共生社会づくりを推進するため、第1期スポーツ推進基本計画（平成27年～令和6年）につづき、第2期（令和7年～令和16年）の基本計画を策定しました。

基本理念

暮らしの中にスポーツが息づき、健やかさとつながりで
笑顔あふれるまち・おごおり

第1期基本計画の実施期間中、新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みが全国的に進められた約3年間の中で、第1期の推進基本計画の策定時にも増して日常的にスポーツを生活の中に取り入れている姿が多くみられるようになった反面、様々なスポーツに対して無気力になっている人がいることも事実です。

また、地域でのスポーツ活動については、運営する側の後継者不足や地域コミュニティに対する向心力も低下傾向にあるという課題も顕著化しています。

そこで、第2期基本計画では「スポーツの日常化」、「健康・体力の保持・向上」、「コミュニティづくり」を理念の中心とし、その理念を具現化するために、次の4つの柱をたてました。

- 柱1 スポーツを楽しもう
- 柱2 スポーツでつながろう
- 柱3 スポーツを支え、生かす仕組みを充実させよう
- 柱4 スポーツ環境を整えよう

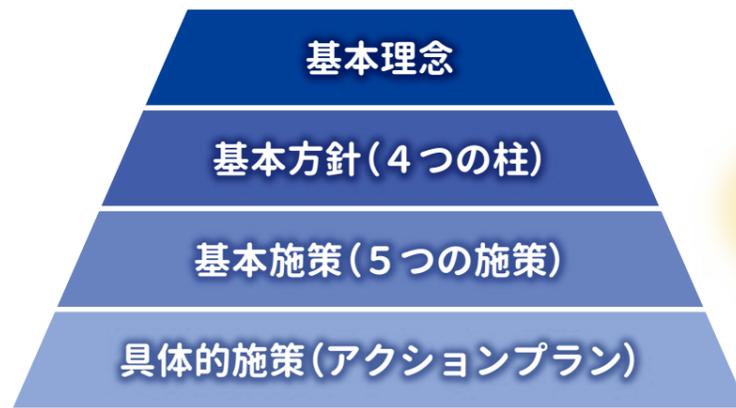


本計画のなかでの「スポーツ」の定義

「スポーツ」とは、国や県のスポーツに関する様々な取組や方針を参考にしながら、競技性の高いスポーツだけではなく、市民の実態やニーズに合わせ、ウォーキングなどの体を動かす活動や遊びの要素を取り入れながら行われるレクリエーション活動も含めたもの。

第2期

小郡市スポーツ推進基本計画を進めるために

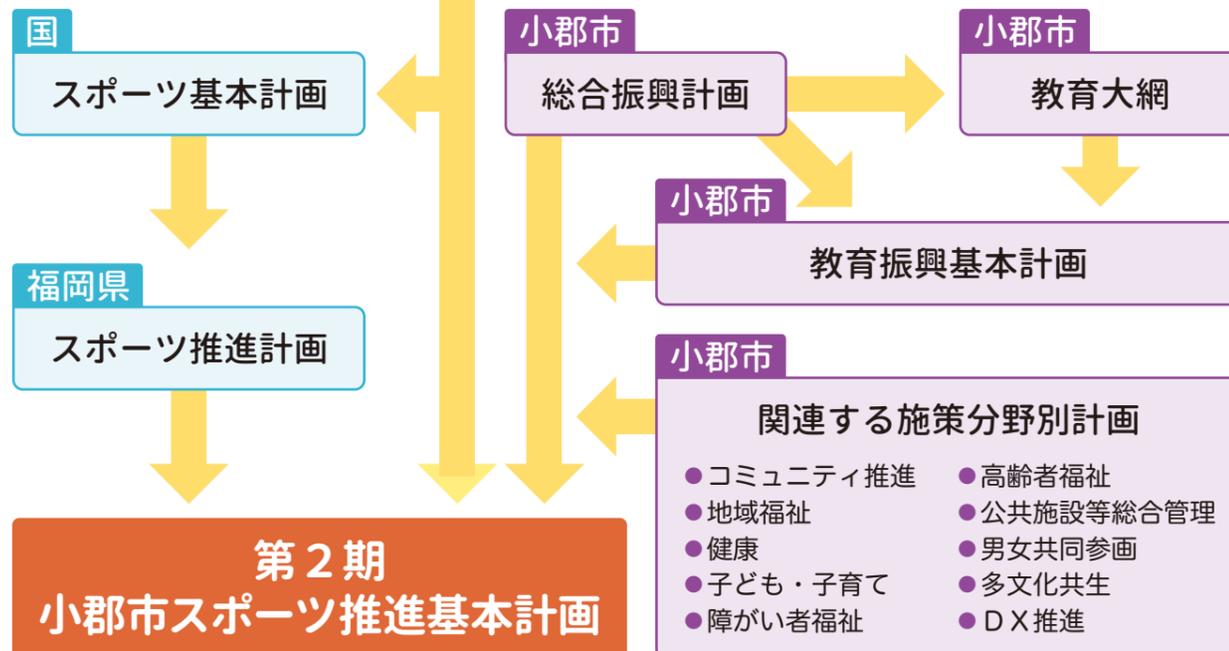


第2期
小郡市スポーツ推進基本計画の
詳細は、小郡市ホームページを
ご覧ください。

計画の推進

本計画を進めるにあたっては、年度ごとに具体的施策を企画立案し「Plan(計画)」、実施「Do(実行)」、その状況の評価「Check(評価)」、次年度に向けて課題や具体的な取り組みを検証し改善「Action(改善)」します。(PDCAマネジメントサイクルの活用)
また、具体的施策を実現させるため、庁内の関係課で連携した取り組みを進めます。

スポーツ基本法



第2期
小郡市スポーツ推進基本計画

基本理念 暮らしの中にスポーツが息づき、健やかさとつながりで笑顔あふれるまち・おごおり

基本方針
4つの柱

柱1

スポーツを 楽しもう

基本施策1

様々な年代の人たちが、校区・区・団体・家族や個人で、親睦や健康づくりなど様々な目的を持ってスポーツに親しむ機会を創出します。



スポーツフェスタ
in OGORIでモルック
QRコードを読み込むと動画が見られます



基本方針
4つの柱

柱2

スポーツで つながろう

基本施策2

スポーツを通じて、年齢、性別や障がいの有無に関わらず(インクルーシブスポーツ)、参加者同士・参加者と支援者とのつながりを深めます。



仲間と室内ペタンク
QRコードを読み込むと動画が見られます



基本方針
4つの柱

柱3

スポーツを支え、 生かす仕組みを 充実させよう

基本施策3

(一社)小郡市スポーツ協会・同協会加盟の各種スポーツ団体、各校区スポーツ関連部会・各区のスポーツ委員等の活動を支援します。

また、子どものスポーツ環境づくりの支援も進めます。

さらに、小郡市スポーツ推進委員による地域スポーツ活動支援を通じて、地域スポーツ活動を支える地域の人材を育成します。



スポーツ推進委員の活動

基本方針
4つの柱

柱4

スポーツ環境を 整えよう

基本施策4

市体育館をはじめ、地域運動広場や社会体育で活用する学校施設について、ユニバーサルデザインの整備及びバリアフリー化を進めます。

また、公園等を活用しスポーツ環境整備を進めます。



※画像は基本設計時点のイメージです。今後変更になる場合があります

基本施策5

スポーツ施設使用の予約や利用状況等の連絡や使用料支払いなどについて、インターネットを活用したデジタル化を進めます。



プロラグビーチームと
楽しく触れ合い！
QRコードを読み込むと動画が見られます



プロスポーツチームと触れ合うことでスポーツを楽しむ機会を増やします。



福岡県障がい者スポーツ大会出場